



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次
地区ガバナー 石川 正一
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」
クラブ会長 原田 毅

本日の卓話

新入会員・再入会会員卓話

立野・山尾会員

今後の卓話予定

10/10 「よねやまの歴史、現状、展望」 地区米山奨学委員長 友野英三様
10/17 「今、求められる人間力」 明治大学名誉教授 経済学博士 百瀬恵夫様
10/24 「あなたにとって職業奉仕とは？」 上原洋一会員

2012年10月3日

第1287回例会

会長 原田 毅
幹事 宮村 義男



10月お誕生日祝

8日(64才) 尾泉良和君 18日(69才) 笹生貞介君
20日(65才) 古谷輝彦君 25日(74才) 松崎文郎君
26日(76才) 永井健一君

前回(9/26 1286回例会)の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 2名 天笠会員令嬢 プラネタリウム解説員 天笠咲子様
留学生 オン・ティティエロ様
◆ビジター 3名 東京浅草R.C. 新實 孝様、東京神田R.C. 川手正一郎様
東京上野R.C. 宮永武司様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	1名	4名	34名	8名	80.95%	1284回例会修正 欠席1名・出席率97.67%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に!

会長報告<原田会長>

・東日本大震災復興支援特別委員会開催
昨夜、東日本大震災復興支援委員会の皆さんが素晴らしい委員会を開いて頂きました。我がクラブとして、どのような支援が可能なのかというテーマで真剣な議論を交わす事ができました。
本来ならば、園部委員長に詳しくご報告を頂きたいと考えていますが、本日はその一端のみ報告させていただきます。今回の復興には十数

年を要するであろうといわれるように、まだ先行きが全く不透明であります。ロータリーが原則単年制でありますので、継続事業になじまないという点がありますが、少なくとも、支援していくという気持ちはしっかりと継続していきたいと考えます。

もともとロータリーの、I serve の精神から考えますと、ロータリアンそれぞれの立場で、それぞれの支援のあり方があるという事で、すでに東北から社員を一人雇った方とか、社

[〈次頁へつづく〉](#)

員旅行を東北で行なった方とか、色々な形での支援も進んでいます。現地のニーズが多様化している事もあり、単なるボランティア精神の押し売りでは却って現地に迷惑を掛ける事もあるようです。そして今一番望まれている事は、供養と祈りではないかと言う発言もありました。いずれにせよ、今回の震災は、人間が生きるという事とはどういう事なのかを、再考させられる文明の転機でもあるように思われ

ます。我がクラブはともかくこれらの様々な状況に鑑み、東北の各県を各年度の会長の意思の元、クラブの旅行会が実施できれば良いなど考えています。今後の首都圏での地震も踏まえ、ある意味では、日本国中が被災者にもなっているという今日、何とか現地に足を運び、学び、この事実から眼をそらさず、忘れないロータリアンでありたいと考えます。

幹事報告<宮村幹事>

- ・ 会員名簿訂正の件
本日にて締め切らせていただきます。
- ・ 10月のロータリーレートは1ドル80円となります。
- ・ 上野ロータリークラブが後援している「中国高校生日本語作文コンクール」の作品集

が届いております。事務所に置いてありますのでご確認下さい。

- ・ 第4回理事・役員会は北分区ゴルフ予選会に5名の理事参加のため第2週10月9日の例会後に変更致します。
- ・ IMが11月14日 上野精養軒で開催されます。15:00~19:30

委員会報告

<胴長おじさんの会>

- ・ 平成20年から支援していたオン・ティティエロ君が立命館アジア太平洋大学を卒業されました。
- 有志の皆様、有難うございます。本



ティティエロ君

日はティティエロ君から簡単なスピーチがあります。

<したまち青年4団体 潮田幹事>

- ・ 台東区したまち青年4団体が現在10月8日まで、したまちフードフェスとして、台東区どんぶりグランプリを開催中です。周遊マップを見て、区内の54店舗のどんぶりを食べ歩いて楽しんで下さい。

ニコニコボックス

<原田会長、宮村幹事>

- ・ 天笠咲子さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願ひ致します。

<藤掛、渡辺、上原、植木、吉田、山尾、海内、齋藤、尾泉、古谷、笹生、井田、大塚、岩田、田村、中村>

- ・ 天笠咲子様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

<天笠>

- ・ 本日は拙い娘の話です。どんな話になるのか心配です。よろしく。

<山尾>

- ・ ティティエロ君、お帰りなさい。スピーチ

を楽しみにしております。

<園部、中村、藤掛、伊石>

- ・ 昨日の東日本大震災復興支援委員会のミーティング、大変有意義な議論がかわせました。委員の皆様ありがとうございました。おつかれ様でございました。

<岩戸>

- ・ 2週間ごぶさたしました。2泊3日の強行軍でシカゴ・パークリッジR.C.でメーキャップ、RIの本部探訪をして来ました。

<藤掛>

- ・ 東日本大震災
頑張ろう東日本。立ち上がれニッポン!!

留学生 オン・ティティエロ君のスピーチ

2012年9月26日

東京浅草中央ロータリークラブ胴長おじさんの会の皆様へ

オン ティティエロ

拝啓

初秋の候、皆様、お変わりなくお過ごしのことと存じます。私もお陰様で元気しております。

大学生生活のご報告ですが、いよいよこれが最後となりました。あっという間にもう四年経ち、お陰様で今年14日に無事に卒業する事が出来、来月より再び社会人に戻る事となりました。この四年間は勉強、アルバイト、地域交流をそれぞれ5:3:2の割合でタイムマネジメントをして頑張りました。4年間に亘り学費をご支援下さいました皆様に改めて心より感謝いたします。

授業料のうち免除にならない20%を皆様にご支援頂いたお陰で、留学生生活は勉強中心に送る事が出来、本当にありがたかったと思っております。そういった幸運が得られるのならば、果たさなければならない義務も当然あり、「近況報告書」を春夏秋冬の季節ごとに提出する事となっておりますが、時々ご報告が遅れたりしてしまいましたので、反省しております。今になって思えば、私はこれを「義務」として考えるのはもったいなさすぎると思っています。何故なら、自分の頑張ったこと、実現出来たこと、出来なかったことをお知らせする事により、次にこれもこれもやってお見せたいという思いで頑張れたからです。また、沢山書くことにより文書の読み書きの練習ともなったからです。

まず、勉強のご報告ですが、無事に卒業することが出来ました。卒業に必要な単位数は124単位ですが、私は128単位を獲得致しました。この4年間はチャレンジの連続でした。第1に、当初国際関係学部に入學した私は、勉強してみても自分が学びたい事はそれではないという事に気付きました。そのため自分に合いそうな国際経営学部へ学部変更させて頂きました。第2に、2年目に大学におけるオプションとも言える情報技術(CAP)学部を追加履修させて頂きましたが、3年目となり、ゼミを選択する際にどうしてもアジア投資戦略を履修したくなり、そのためには情報技術学部を取り消さざるを得ませんでした。私はあれもこれも勉強したいと思い、つい我がままになってしまいまして、大変皆様にご迷惑をお掛けし、申し訳御座いませんでした。第3に、大学の授業のみならずヤマト運輸と大学の共同プログラムやフィールド・スタディーという企業訪問などの特殊講義に参加致しました。この学内外の学業を通じて幅広い勉強をすることが出来ました。第4に、上述した特殊講義の参加や日常生活などのために懸命にアルバイトを致しました。アルバイト先としては杉の井ホテルや、大学の図書館、会計事務所、教師のアシスタントなどで空いている時間がないほど頑張りました。アルバイトを通じて日本の文化・社会勉強、会社体験をすることが出来ました。

次に、卒論のことですが、株式会社タイカより内定を頂いてから同社のアジア事業の戦略について書かせて頂きました。株式会社タイカは化学メーカーであり、多機能素材事業や曲面印刷事業などを行っている会社です。従業員数は約230名で、子会社がアメリカや中国にあります。勤務先は東京で、今年の10月1日に入社する予定です。その後中国にて研修を6ヶ月受け、最終的にこの会社がカンボジアで工場を設立する際、現地で活躍させて頂ける可能性を伺っております。お陰様で卒論は優秀卒論として選ばれました。

在学中は地域交流活動にも力を入れました。他の国内外の学生と共に大分県内外の地域にて英会話教室を開いたり、文化交流ツアー、カンボジア料理教室、カンボジアについてのプレゼンテーション、グローバルヴィレッジというプログラム、沖縄にて行われた「アジア青年の家」というプログラムに学習サポーターとして参加したり致しました。これらの活動により異文化理解やネットワークを広げることが出来ました。お互いの意見を交換することで日々成長し、絆を作りました。私たちの姿が世界平和の時代の象徴ではないかとも思いました。

卒業証書を手にした今、「日本の大学では日本語や文化、日本の社会、日本の企業について学びたい」と思っていた四年前を振り返ってみますと、想像をはるかに超えた様々な事を学ばせて頂きました。嬉しくて嬉しくて溜まりません。これは皆様のお陰だと思っております。将来は学んだことを活かしながら入社予定の会社において貢献し、自分の仕事を通じ自分なりの人間社会貢献をする事で、皆様にご恩返しをしたいと考えております。より幸せな人間社会を作るため努力して行きたいと思えます。特に日本とカンボジアとの両国の友好的な交易に役立つ人間になれたらと考えております。

最後になりますが、4年間、本当にお世話になりました。皆様からご支援を頂いたことで他人への思いやりと助け合いが大事だと実感致しました。これからは後輩の面倒を見ながら更に自分を磨いていく覚悟です。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具

追伸：卒業証書、表彰状及び卒業論文の写しを添付させていただきます。

「人が人生で3度行く？ところのはなし」
～プラネタリウムやら博物館やらの裏話～



天竺会員御令嬢
プラネタリウム解説員(博物館学芸員)

天 竺 咲 子 様

〈略歴〉

都立上野高等学校卒業
文教大学文学部中国語中国文学科卒業
台湾 国立台湾師範大学留学
玉川大学文学部通信過程にて学芸員資格取得

関東1都3県の博物館や文化施設のプラネタリウム館を経て、2007年より現職、千葉市科学館にてプラネタリウム解説を担当。

中学・高校では地学部などに在籍し、中学の理科教師になりたいと思う一方で、言葉やアジア文化に興味があり、大学では文学部に進学し、現代中国や中国語を専攻。卒業後、台湾に留学。

帰国後、通訳や添乗員などの仕事に就くが、大学時代のバイト先「葛飾区郷土と天文の博物館」で解説員の募集があり、それからプラネタリウムの道へ。

また、1999年の台湾大地震を機に活断層研究に協力。
近年は、天文分野を軸にしつつ、内容を地学全般に広げながら教育普及活動を展開。

博物館で働きながら学芸員資格取得した際、「博物館学」に特に興味を持ち、その後も“博物館が社会にできること”について研究・考察を続けている。